

DRM-PFを使って全国の幹線道路周辺の騒音を予測する

北海道大学大学院 工学研究院 田鎖順太

私たちは音に囲まれて暮らしていますが、「望ましくない音」は騒音に分類されます。道路を走行する車両による音は騒音の代表例であり、快適な音環境の実現のためには、音の大きさ（レベル）を正確に把握し、低減を目指す必要があります。

この発表では、DRM-PFで提供される全国の道路情報を利用した自動車騒音の予測についてご紹介します。道路の位置・交通量，周辺の建物情報等と騒音伝搬モデルと組み合わせることによって，比較的精度の高い予測が可能となりました。対象地域は全国です。予測結果を活かしたまちづくりや政策決定の推進が大いに期待されます。



図：騒音マップの作成例（札幌市内）